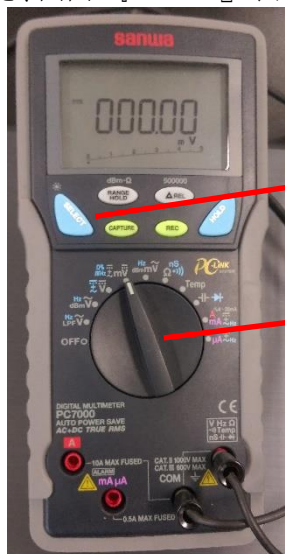


ガスクロマトグラフ測定マニュアル

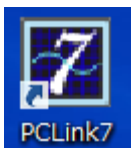
1. SELECTボタンを押しながらテスターのファンクションスイッチを直流mVに合わせる。このとき、画面に『dSAPO』と表示されたことを確認する。



SELECT ボタン

ファンクションスイッチ

2. パソコン上で二つのソフト(PCLink7とUniChrom)を起動する。



3. ガスクロマトグラフのZEROつまみを調整して、テスターの表示をほぼ0(マイナスにはしない)にする。

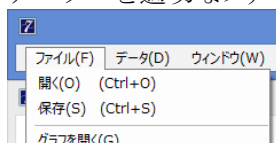


ZERO つまみ

4. PCLink7の取込間隔が『最速』であることを確認してから、ガスクロマトグラフへの試料の注入と同時にPCLink7の開始ボタンをクリックする。注入した全ての成分が出たら、終了ボタンをクリックする。



5. データを適切なファイル名で保存をし、削除ボタンをクリックしてデータをクリアする。



6. 測定は、必要なだけ4.と5.のステップを繰り返す。測定中に、7.からの手順で解析を行う。
7. 5.で保存したファイルとtemplate.csvを開く。
8. 測定データのB列をすべて選択してコピーする。

B1 : [X] [✓] [fx]

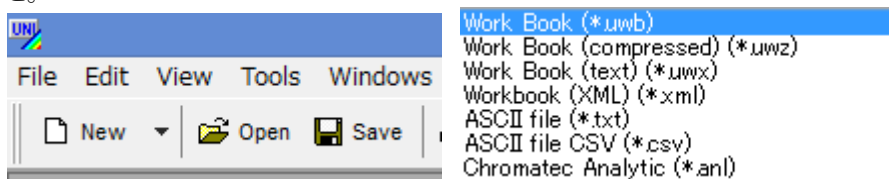
| | A | B | C |
|---|----------|--------|---|
| 1 | 0 | 0 DCmV | |
| 2 | 2.52E-06 | 0 DCmV | |
| 3 | 4.70E-06 | 0 DCmV | |
| 4 | 7.05E-06 | 0 DCmV | |

9. template.csvのB1にカーソルを合わせてからペーストする。(8.のデータを張り付ける。)

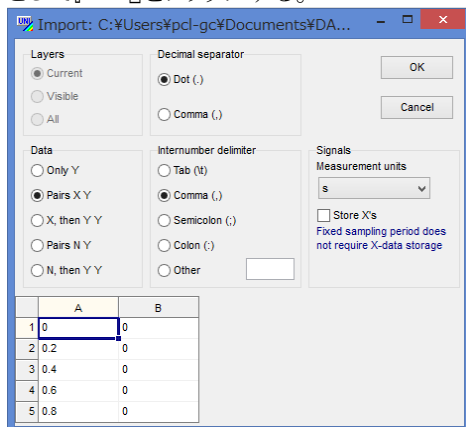
B1 : [X] [✓] [fx]

| | A | B | C |
|---|-----|---|---|
| 1 | 0 | 0 | |
| 2 | 0.2 | 0 | |
| 3 | 0.4 | 0 | |
| 4 | 0.6 | 0 | |

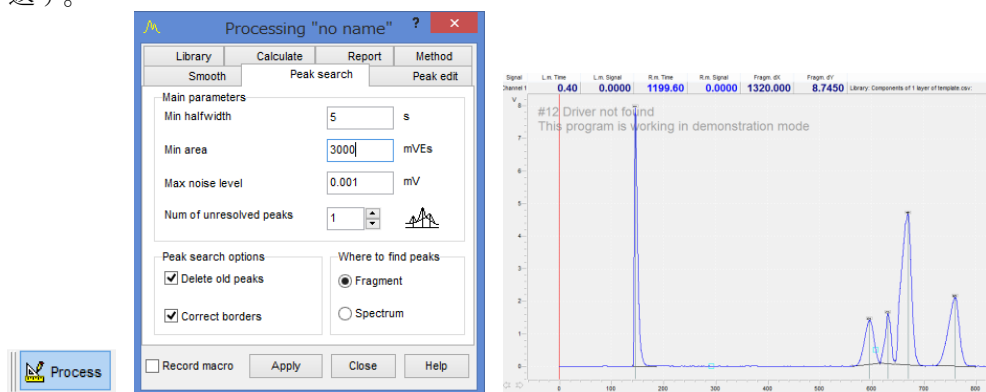
10. 両方のファイルを閉じる。template.csvは保存するか聞いてくるので、当然保存する。その時、『この形式で保存するか』と聞いてくるので、『はい』をクリックする。
11. UniChromでtemplate.csvを開く。この時、『ファイルの種類』で『ASCII file CSV』を選ぶこと。



12. “Data”は“Pairs X Y”, “Internumber delimiter”は“Comma(,)”, “Measurement units”は“s”として『OK』をクリックする。



13. 『Process』をクリックしてダイアログを表示させる。”Peak search”タブを開き, ”Min halfwidth”を5位, ”Min area”を3000位にして『Apply』をクリックする。うまく合えば、本来のピークだけが全て自動検出される。検出されなかったり、変なところがピークとして検出されてしまったときは、それぞれの値を適当に増減させて『Apply』をクリックするのを繰り返す。



14. 『Peaks』タブをクリックすると、ステップ13.で検出された各ピークの位置や面積が表示されているので、ノートに書き写す。列の幅を広げないと、数値が全て表示されないので注意すること。

| Chromatogram | | Peaks | | | |
|--------------|------|---------|-------------|------------|--|
| No | Name | t,s | A,mV·s | H,mV | |
| 1 | 1 | 146.400 | 8024.97830 | 7949.99950 | |
| 2 | 2 | 596.000 | 8672.97360 | 1365.18747 | |
| 3 | 3 | 631.600 | 10411.02813 | 1542.41040 | |
| 4 | 4 | 670.400 | 3621.69207 | 4628.35538 | |
| 5 | 5 | 760.800 | 2917.69564 | 2115.50351 | |
| 6 | | | 3648.36774 | 7601.45626 | |

15. あとは、7.から14.までのステップを繰り返して解析を行う。